

株式会社 神戸製鋼所

KOBELCOグループ

第171期 上半期

# 株主の皆様へ

2023年4月1日～2023年9月30日

**KOBELCO**

証券コード

5406

「安全・安心で豊かな暮らしの中で、  
今と未来の人々が夢や希望を  
叶えられる世界。」の実現に向け、  
KOBELCOグループの総合力を  
最大化しながら、社会の発展に  
貢献し続けていきます。

株式会社神戸製鋼所  
代表取締役社長

山口 貢



株主の皆様には日頃から格別のご高配を賜わりまして厚く御礼申し上げます。

2023年度上半期の業績やトピックス等をご報告いたしますので、ぜひご覧いただきたく存じます。

### 当上半期の業績及び配当について

当社グループの当上半期の連結業績につきましては、鉄鋼メタルスプレッドの大幅な改善、電力での神戸発電所4号機の稼働や燃料費調整の時期ずれ影響の改善、売電価格に関する一過性の増益影響等により、経常利益は前年同期に比べ497億円増益の916億円となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、子会社において固定資産の譲渡益を計上したことなどから、前年同期に比べ523億円増益の803億円となりました。

当期の連結業績につきましては、機械でのサービス案件の増加や受注採算の改善、建設機械での円安による輸出採算の改善、電力での売電価格に関する一過性の増益影響、さらには在庫評価影響の改善等により、経常利益は1,450億円程度、親会社株主に帰属する当期純利益は1,200億円程度と見通しております。

また、当期の中間配当につきましては、これまで親会社株主に帰属する当期純利益（連結）の15%~25%を目安としておりました配当性向を、株主の皆様への利益還元の更なる充実のため、当期より「同30%程度を目安」へ変更したことを踏まえ、1株につき45円といたします。株主の皆様には、何卒ご理解を賜りたいと存じます。

### 中期経営計画最終年度を迎えて

今年が最終年度となる今中期経営計画では、最重要課題として「安定収益基盤の確立」と「カーボンニュートラルへの挑戦」の2つを掲げてスタートさせました。半導体不足に

よる自動車産業の低迷や地政学リスクの高まりに起因するエネルギーをはじめとした原材料価格高騰の影響等、事業活動全般に影響する多くの変化があり、厳しい状況が続きましたが、重点施策を着実に実行するとともに、ものづくり力の強化や販売価格の改善に向けた取組みを通して「安定収益基盤の確立」については一定の手応えを感じています。

一方、カーボンニュートラルについては、世の中の気候変動に対する取組みが加速する中で、当社グループの有する事業の活躍の場がより一層増していると感じています。当社グループはこれまで特長ある製品を多く世の中に提供してきましたが、当社グループの有する多様な事業をグループ内でうまく掛け合わせることで新たなビジネスの展開が期待できます。自社生産プロセスでのCO<sub>2</sub>削減を着実に進めるとともに、お客様でのCO<sub>2</sub>排出削減貢献に関しても、さらに大きな役割を果たしていきたいと考えています。

### 持続的社会的実現へ

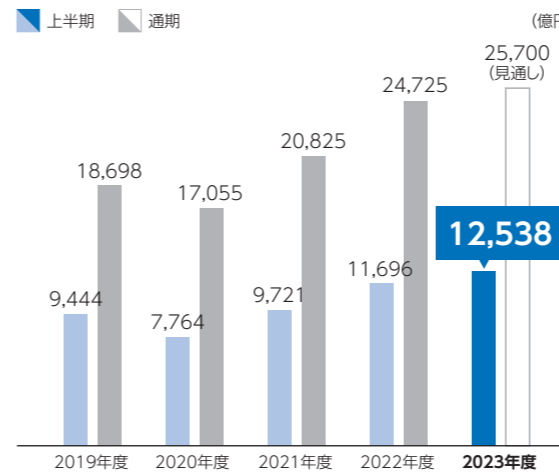
カーボンニュートラルをはじめとした社会課題やお客様のニーズに応えることが、当社グループの使命であり、新たなビジネスチャンスでもありと考えています。当社グループは、素材系事業、機械系事業、そして電力事業と、多様な事業を展開する世界でも稀有な企業体です。多様な事業を有するということが、多様な技術、人材、マーケットを有していることであり、それらを掛け合わせた「総合力」を発揮することで、新たな価値を生み出せる存在であると信じています。引き続き、当社グループの技術・製品・サービスを通じて持続的社会的の実現に貢献し続けてまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続きご指導とご鞭撻を賜りますとともに、当社グループをご支援いただきたく、何卒宜しく願い申し上げます。

2023年12月

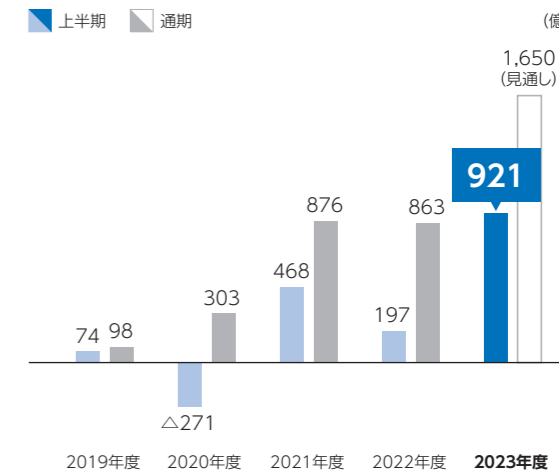
### 売上高

1兆2,538億円 | 前年同期比 +7.2% ↑



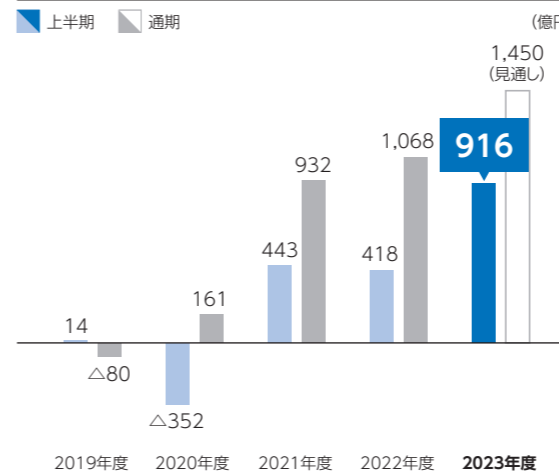
### 営業損益

921億円 | 前年同期比 +366.0% ↑



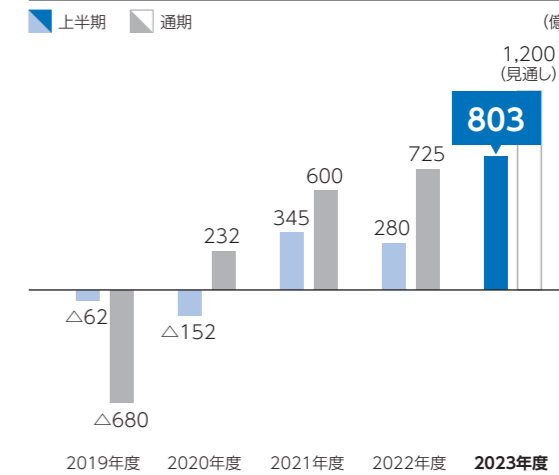
### 経常損益

916億円 | 前年同期比 +119.0% ↑



### 親会社株主に帰属する四半期(当期)純損益

803億円 | 前年同期比 +186.9% ↑

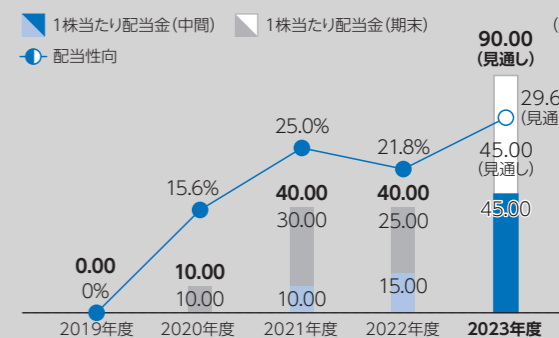


### 株主還元について

配当につきましては、継続的かつ安定的に実施していくことを基本としつつ、財政状態、業績の動向、先行きの資金需要等を総合的に考慮して決定することとしております。

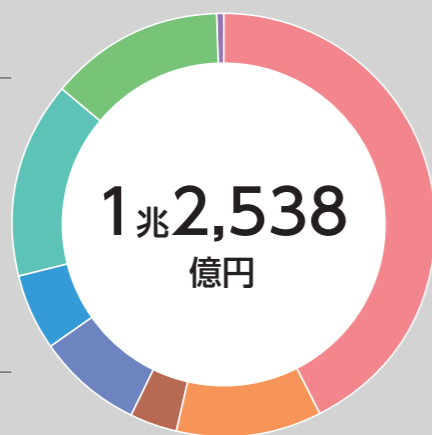
これまで配当性向につきましては、親会社株主に帰属する当期純利益（連結）の15%~25%を目安としておりましたが、株主の皆様への利益還元の更なる充実のため、当期より「同30%程度を目安」に変更しております。

○1株当たり配当金・配当性向



### 事業別売上高 (2023年度上半期)

(注) 右記円グラフの各事業の売上高の合計から、各事業間の内部売上高の消去額319億円を差し引いた金額が、連結売上高の合計額1兆2,538億円となります。なお、各事業別の売上高構成比率は、各事業の売上高の合計をもとに算出しております。



- 鉄鋼アルミ ..... 42.7%
- 素形材 ..... 11.0%
- 溶接 ..... 3.6%
- 機械 ..... 8.0%
- エンジニアリング ..... 5.8%
- 建設機械 ..... 15.0%
- 電力 ..... 13.4%
- その他 ..... 0.4%

### 決算のポイント

鋼材の販売数量は、自動車向けの需要が増加した一方、自動車向け以外の需要が減少したことから、前年同期並となりました。販売価格は価格改善の進展等により、前年同期を上回りました。アルミ板の販売数量は、自動車向けは前年同期並であった一方、需要の調整局面にあるIT・半導体向けの大幅な減少により、前年同期を下回りました。販売価格では価格改善の進展等により、前年同期を上回りました。

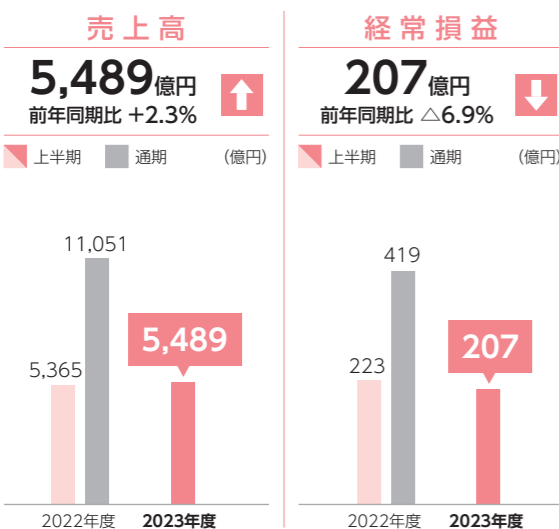
素形材の販売数量は、造船向け需要を取り込んだ鋳鍛鋼、一般産業向け需要が回復したチタン、自動車向け需要が回復したサスペンションで前年同期を上回りました。一方、IT・半導体向け需要の減少により、銅板、アルミ鋳鍛で前年同期を下回りました。

油圧ショベルの販売台数は、需要が低迷した中国や、エンジン認証問題により欧州で減少したものの、北米等で増加したこと

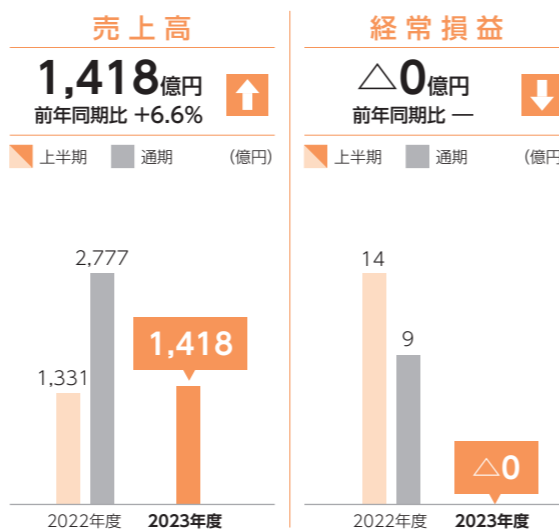
から前年同期並となりました。

この結果、当上半期の売上高は、前年同期比841億円増収の1兆2,538億円となり、営業利益は、鉄鋼アルミでの販売数量の減少や在庫評価影響の悪化等があったものの、原料炭価格の下落と販売価格改善の進展に伴う鉄鋼メタルスプレッドの大幅な改善、機械・エンジニアリングでの売上高の増加、電力での神戸発電所4号機の稼働や燃料費調整の時期ずれ影響の改善、売電価格に関する一過性の増益影響(売電価格の指標となる石炭の輸入貿易統計価格と当社購入価格の差異)等により、前年同期比723億円増益の921億円となりました。経常利益は、建設機械における北米でのエンジン認証に関する補償金収入の剥落等の減益要因があったものの、営業利益の増益により、前年同期比497億円増益の916億円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、経常利益の増益に加え、子会社において固定資産の譲渡益を計上したことなどから、前年同期比523億円増益の803億円となりました。

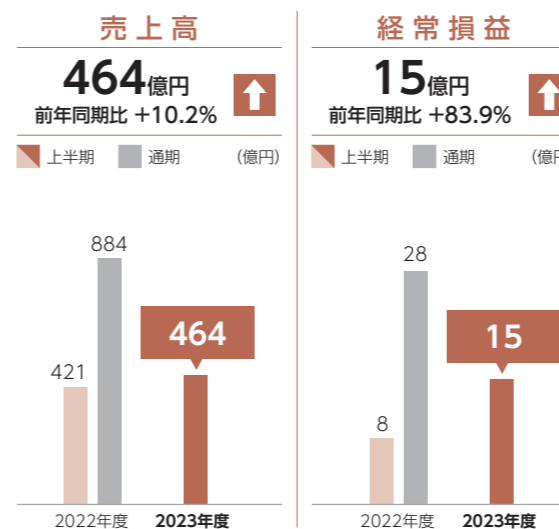
### 鉄鋼アルミ



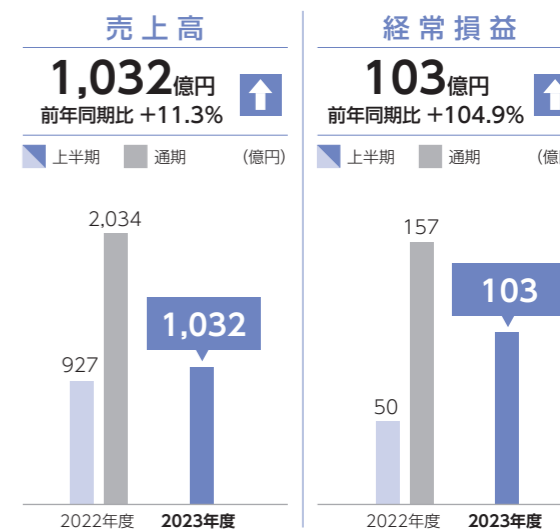
### 素形材



### 溶接

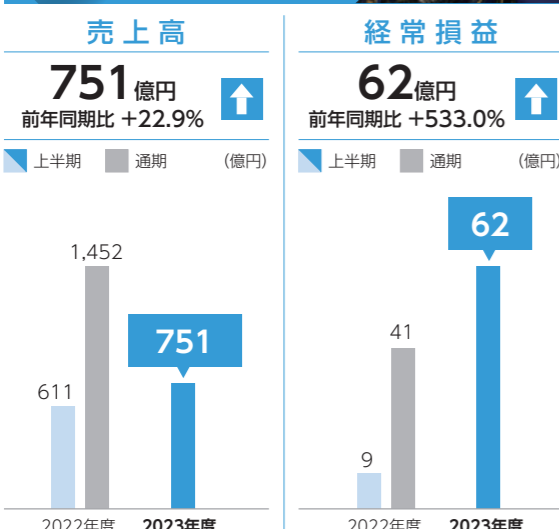


### 機械

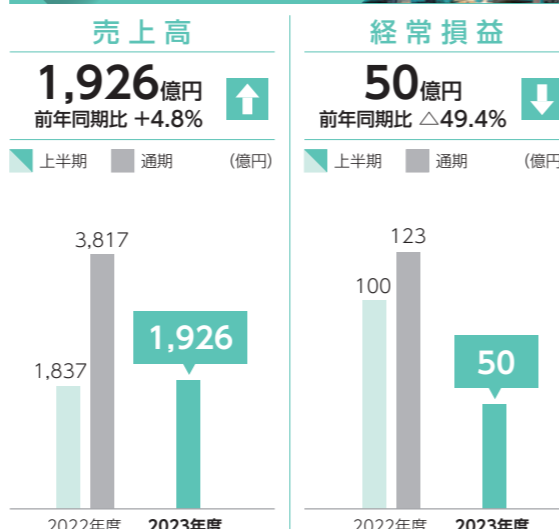


(注) 2023年度より、(株)コベルコ科研について、「その他セグメント」から「機械セグメント」に変更しているため、2022年度の実績を再集計しております。

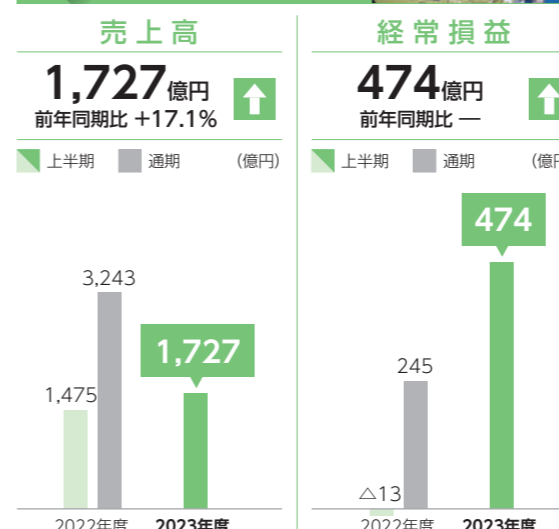
### エンジニアリング



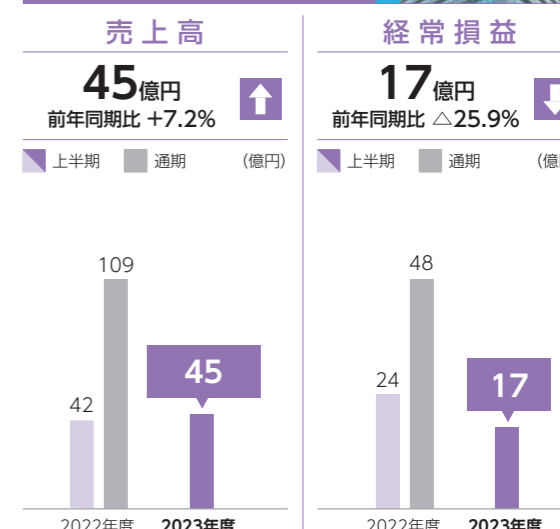
### 建設機械



### 電力



### その他



(注) 2023年度より、(株)コベルコ科研について、「その他セグメント」から「機械セグメント」に変更しているため、2022年度の実績を再集計しております。

## TOPICS

## 1

## 番組提供(テレビCM)開始の決定について

当社は本年7月より「あしたにいいこと、KOBELCOと。」をキャンペーンメッセージとした企業CM「あしたにいいこと～技術のかけ算～篇」を中心とした広告宣伝活動を開始しています。このたび、10月からの番組提供(テレビCM)開始が決定いたしましたので、お知らせいたします。

当社グループは、多様な人材・事業・技術のかけ算を通じて、社会課題の解決に挑み、ステークホルダーの皆様にとって「かけがえのない存在」であり続けることを目指すとともに、こうした私たちの姿勢や思いをより多くの皆様に届けていきたいと考えています。ぜひご注目ください。

放映番組等の詳細は、以下をご参照ください。

[放映番組等の詳細はこちら]

[https://www.kobelco.co.jp/notices/1213961\\_15586.html](https://www.kobelco.co.jp/notices/1213961_15586.html)



## TOPICS

## 2

## 「KOBELCO個人株主様向けオンライン説明会」開催のご案内

副社長の永良哉が、当社グループの概況をご説明するとともに、個人株主様のご質問にお答えするオンラインのライブイベントを以下の通り開催いたします。社長の山口貢が社員と対話している様子等、普段公開していない動画も放映いたしますので、奮ってご参加いただきたく、宜しくお申しあげます。

## 日時

2023年12月14日(木) 13時開始  
(15時頃終了予定)

アクセス  
方法

12月初旬にお届けする「中間配当書類のご案内」の封筒に、アクセス方法に関するご案内を同封いたしますので、ご確認ください。

## [事前質問の受付]

以下のURLまたは二次元コードより事前質問をお受けいたします。当社グループについてお聞きになりたいことがあればぜひご質問ください。  
(説明会当日もチャット機能を利用してご質問をお受けいたします)



<https://forms.office.com/r/RWYXmk8NLI>

## お知らせ

2023年度開催の定時株主総会より、株主総会資料が原則ウェブ化されております。書面で株主総会資料を受領されたい場合は、以下の当社ホームページをご参照ください。

<https://www.kobelco.co.jp/ir/stockinformation/stockinfo/index.html>



## 会社概要

2023年9月30日現在

創立 1905年9月

株主数 204,645名

発行済株式総数 3億9,634万5,963株

社員数(単体) 11,593名

資本金 2,509億3,003万3,900円

## 株式のお手続きに関するお問い合わせ先

株主名簿管理人・特別口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社  
当社株式に関する住所・氏名等の変更、配当金振込指定・変更、単元未満株式買取・買増請求及び相続等のご相談、お手続きは、以下にお問い合わせください。

## お問い合わせ先

〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部

☎0120-094-777 ●通話料無料  
(平日9:00~17:00)

※証券会社にお預けの当社株式については、お預けの証券会社にお問い合わせください。  
※未受領配当金のお受取りのお手続きについては、三菱UFJ信託銀行株式会社にお問い合わせください。